

## 患者さんへの説明文

東京通信病院薬剤部では、東京通信病院倫理委員会の審査を受け、病院長承認のもと、下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の情報を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

### 1 研究題名

ポリファーマシーに対する薬剤師介入事例の調査とその評価

### 2 研究の目的

高齢者におけるポリファーマシー（多くのくすりを服用していること）は、多剤処方や処方内容の複雑化が薬物有害事象の発生や服薬アドヒアランスの低下など様々な問題と関連すると言われていています。本研究は、当院で薬剤師が介入したポリファーマシー事例の実態を調査し、当院でのポリファーマシー対策の取り組み状況や課題等を把握し、今後の薬剤師の職能拡充や質の向上、医薬品の適正使用の推進、ポリファーマシー対策の改善を目的としています。

### 3 研究の対象

東京通信病院で、①2020年10月1日～2025年3月31日の期間に入院された方で、②ポリファーマシー対策が行われた方（薬剤総合評価調整加算、薬剤調整加算を算定した方）（診療明細書の入院料欄に薬剤総合評価調整加算ならびに薬剤調整加算の点数が明記されている方が該当します）

### 4 研究の方法

- 1) 薬剤総合評価調整加算、薬剤調整加算の算定状況について、年月毎の算定件数、診療科別の算定件数を集計し、薬剤師による取り組み状況を把握します。
  - 2) 2020年10月1日～2025年3月31日に、薬剤総合評価調整加算、薬剤調整加算を算定した患者さんのポリファーマシー対策の評価前後の内服薬を比較し考察します。
- ポリファーマシー対策を多職種でどのように実施し、どの薬剤を薬剤評価したか、

薬剤師がどのように関わったかを調査します。

- 3) 当院病棟担当薬剤師を対象にポリファーマシー対策業務に関するアンケート調査を実施します。

#### 【利用する情報】

ポリファーマシー対策をどのように実施したかを把握する目的に限定して、電子カルテに記録された内容を情報として利用します。

対象患者さんの性別、年齢、疾患名、薬剤評価による処方変更の有無、薬剤名・処方量、ポリファーマシー対策の記録、カンファレンス記録、薬剤総合評価調整加算の算定件数、薬剤調整加算の算定件数、薬剤管理指導実施件数、薬剤管理指導記録

#### 5 患者さん等の負担や危険性の有無

これまでの診療において記録された診療録・処方内容のデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

#### 6 人権尊重について

研究で利用する情報から、患者さんを直接特定できる個人情報には削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

研究にご協力いただけない場合のお申し出期限は、2025年8月31日までとさせていただきます。ご協力いただけない場合でも診療において、不利益につながることはありません。

#### 7 研究者の所属、氏名、連絡先等

東京通信病院 薬剤部 高橋 里奈

住所：東京都千代田区富士見2-14-23

電話：03-5214-7111